



スタッフ関係とのコミュニケーション

大阪府保健医療室感染症対策企画課 鈴木



スタッフが考えていること



－陽性になった職員

- －自分が感染を広げたんじゃないか、迷惑をかけたんじゃないか
- －職場が感染対策してないから自分が罹った
- －自宅療養後、職場から連絡がない、必要ないのかな、戻りづらい

スタッフが考えていること

－残った職員

- －しんどい、この状況が落ち着いたら辞めよう
- －働きたい、でも家族の協力が得られない
- －怖い、自分が感染したらどうなるの、関わりたくない



職員をケアすることで離職予防につながります

コミュニケーションでの職員ケア

- スタッフの生活支援
- 職員の士気の維持
- **COVID-19**の正しい知識
- こころのケア
- 職員が困りごとを相談しやすい環境



職員ケア

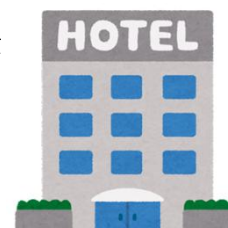
－スタッフの生活支援

－休憩室の整備

－家に帰れない職員への宿泊施設の確保



安全が担保された
グリーンゾーンの設置



車中泊している職員に対して

職員ケア

— 職員の士気の維持

- 支援者、受援者など職員の一体感の構築
- 達成事項の整理
- 出口の明示



コロナはみんなで対応している

全体朝礼などで現状をスタッフに伝える

2. 感染状況
入所者

	人数	陽性	陰性	未検	検査済	入院
2F	11	5	6	0	0	3
3F	15	6	9	0	0	4
合計	26	11	15	0	0	7

※ 隔離解除の予定 目標 解除予定

種別	人数	陽性	陰性	未検	合計
合計	14	3	7	0	4
2F	2	2	0	0	0
3F	7	0	7	0	0
合計	23	5	14	0	4

○ 現在の状況

	人数	陽性	濃厚	解除	総数
2F	8	2	6	0	0
3F	11	2	9	0	0
合計	19	4	15	0	0

○ 現在の状況

	人数	陽性	濃厚	解除	総数
2F	8	2	6	0	0
3F	11	2	9	0	0
合計	19	4	15	0	0

職員ケア

- COVID-19の正しい知識
- 正しい感染対策



レッドゾーンでの防護服
グリーンゾーンでの防護服
それぞれ正しく着脱

状況に合わせたPPEの選択



職員ケア

— こころのケア

— ポスターをトイレなどに掲示

— 精神保健福祉センターとの連携による専門的介入

大阪府／新型コロナウイルス感染症に関するこころのケアについて
(osaka.1g.jp)

新型コロナウイルス感染症への対応にあたる
医療従事者及び支援者の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症への対応に最前線でご尽力いただき、ありがとうございます。
これまでに経験したことのないストレスの中で業務に従事しておられる皆さまには、心身ともに大きな負担がかかっていると思います。
このような状況下では、職種や経験年数を問わず、こころや身体に様々な変化があらわれます。これらは正常な反応ですが、適切なサポートがなされず一人で抱え込んでしまうと、さらなる心身の不調を引き起こされたり、業務を続けることが難しくなったりします。
心身の健康を保って業務を続けるにあたり、以下のポイントを参考にしていただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症の対応者 特有のストレス	こころの疲れの「注意サイン」の一例
<ul style="list-style-type: none">◆ 「自分が感染したらどうしよう」「周囲に感染させてしまうかも」という不安◆ 活動への緊張感や不安全感◆ 孤立感や見放された感覚◆ 周囲の誤った知識や偏見による心ない言葉や扱い◆ 過度の情報量	<ul style="list-style-type: none">✓ 気分が落ち込む✓ 物事に集中できない✓ 眠れない✓ イライラする✓ 腹が立つ✓ 何をしても面白くない✓ ミスや物忘れが増える✓ 自分の責任だと考えてしまう

ストレスの多い状況が続いて、注意サインが現れたら、できるだけ早くストレスの軽減に取り組みましょう

おすすめの対処法

- ◎ 無理せずに休養を取りましょう（最も大事なことです!）
- ◎ 正確な情報を共有しましょう

職員ケア

- －職員が困り事などを相談しやすい環境
 - －投書箱の設置
 - －メール、電話などの相談窓口を含む



コミュニケーションの優先順位

- 陽性者ならびに陽性者以外の家族からも施設に不安、不信感
 - 誹謗中傷
 - 関係業者のサービス中断
 - 外来患者および職員その他医療機関受診の際の診療拒否
- すべての利用者、その家族、出入り業者に発信



内部・外部への発信

－利用者、その家族

- －手紙での送付
- －メール、電話など相談窓口の設置
- －ホームページの掲載



- ・事実を伝える

プラスの要素を報告をして
安心を伝える

- ・保健所に報告している
- ・大阪府から支援受けた
- ・診察診てもらっている
- ・快方に向かっている様子
- ・不安や疑問があれば
いつでも対応します
など

内部・外部への発信

- 出入り業者（リネン業者、産廃業者、その他外部委託）
 - 通常通りの出し方で問題ないのかの確認
 - 各業者の感染対策に合わせた対応



そのままでも大丈夫



まとめ

- スタッフの生活支援
- 職員の士気の維持
- **COVID-19**の正しい知識
- こころのケア
- 職員が困りごとを相談しやすい環境

